

令和元年度
第1回 山形県渋滞対策推進協議会

目次

1. 開催主旨等
2. 主要渋滞箇所の解除
3. 今年度の渋滞対策の実施内容
4. 今年度の渋滞対策の検討内容
5. 補足資料

1. 開催主旨等

1-1. 開催主旨等

■第1回渋滞対策推進協議会の開催主旨

○効率的・効果的に渋滞対策を推進していくために、年2回開催することを基本とする(平成30年度～)。

- ・1回目: 当該年度に実施する対策の報告等
- ・2回目: 当該年度に実施した対策を振り返る等、1年間の取り組みを総括

■R元実施施策のポイント

○道路利用者団体との連携推進 <継続>

- ・平成29年度より、バス・トラック協会・観光協会等と連携した取り組みを展開
- ・平成30年度より、タクシー・ハイヤー協会とも連携を強化

○従来の対策に加え、ピンポイント対策の積極的实施 <継続>

- ・全方向の対策とならずとも、1方向でも対策推進
- ・渋滞解消とならずとも、緩和・利用者の実感を得られるよう推進

	令和元年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
山形県 渋滞対策 推進協議会				● 第1回 (7/30)							● 第2回 1~2月(年度末)予定	

※地域WG: 渋滞対策推進協議会の開催回数変更により、適切かつ効率的な時期に設定し開催予定。

1-2. 取り組み方針

○道路ネットワークの対策は長期的であることから、中・短期施策(交差点改良等)、短期施策(ピンポイント対策・ソフト対策)とセットで取り組んでいく。

対策

①道路ネットワークの補完も視野に入れた渋滞対策の検討(長期施策)

面的に渋滞が広がる地域や簡易な対策が困難な地域では、代替路線となる道路ネットワークの確保も視野に入れながら、交通需要の分散を図ることを実施。

②簡易な対策も視野に入れた継続的な取り組み(短期施策)

交差点改良等の道路構造の改良を伴う対策のみに限定させず、簡易で早期に取り組み可能なピンポイント対策やソフト対策を積極的に実施。

進め方

③トラック・バス・ハイヤー・観光等の利用者団体との連携強化

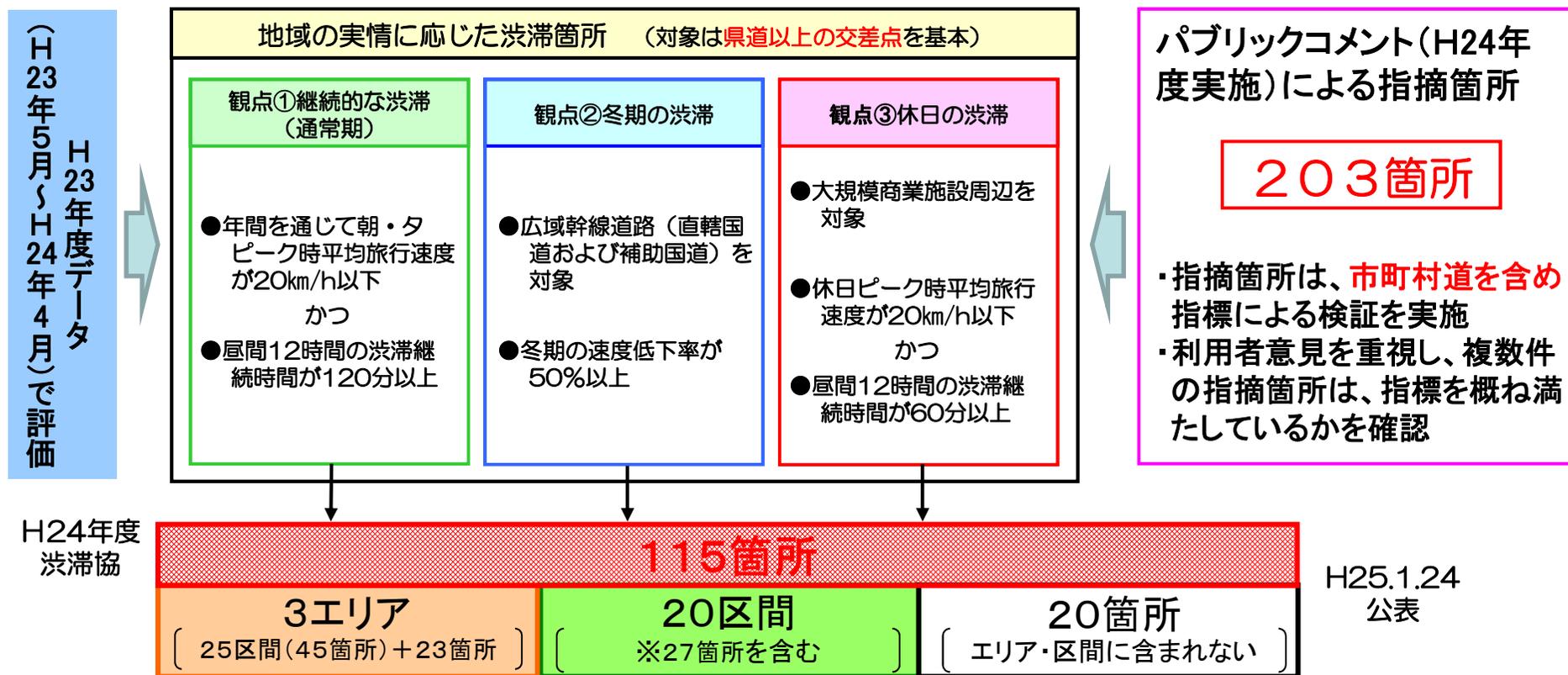
利用者目線での意見を頂きながら、渋滞対策を実施。

④地域特有の課題への対応(道路管理者・警察・関連団体で連携)

山形県における地域特有の課題『4つの柱』(課題①:冬期の低速走行区間の拡大、課題②:観光渋滞、課題③:大型店舗等立地による低速走行区間拡大、課題④:高速道路の整備に伴う周辺の道路交通の課題)に対し、道路管理者・警察・関連団体で連携を図り、ハード・ソフトの両面から対策を実施。

1-3. 主要渋滞箇所抽出の流れ

- 主要渋滞箇所は、県内全体で115箇所が抽出
- 「観点①継続的な渋滞(通常期)」、「観点②冬期の渋滞」、「観点③休日の渋滞」の3つの観点からそれぞれ評価指標を設定し、「主要渋滞箇所」として抽出・公表



※H30渋滞協資料より抜粋

1-4. 道路ネットワーク等の対策(長期施策)

- 山形県においては、鋭意、高規格道路等のネットワーク整備を推進
- 並行現道等の渋滞解消・緩和へ寄与

○東北中央自動車道(縦軸)は5事業展開中
うち3事業が主要渋滞箇所とリンク

○日本海沿岸東北自動車道等(縦軸)は3事業展開中
うち2事業が主要渋滞箇所とリンク

(H25 事業化)

ゆざ きさかた
遊佐象潟道路 L=8.0km

現道R7並行区間：主要渋滞箇所1箇所
・ No.49 西浜南交差点

(H21 事業化)

日本海沿岸東北自動車道(直轄高速)
(酒田みなと~遊佐) L=12.0km

※R2年度供用予定(酒田みなとIC~遊佐比子IC(仮))

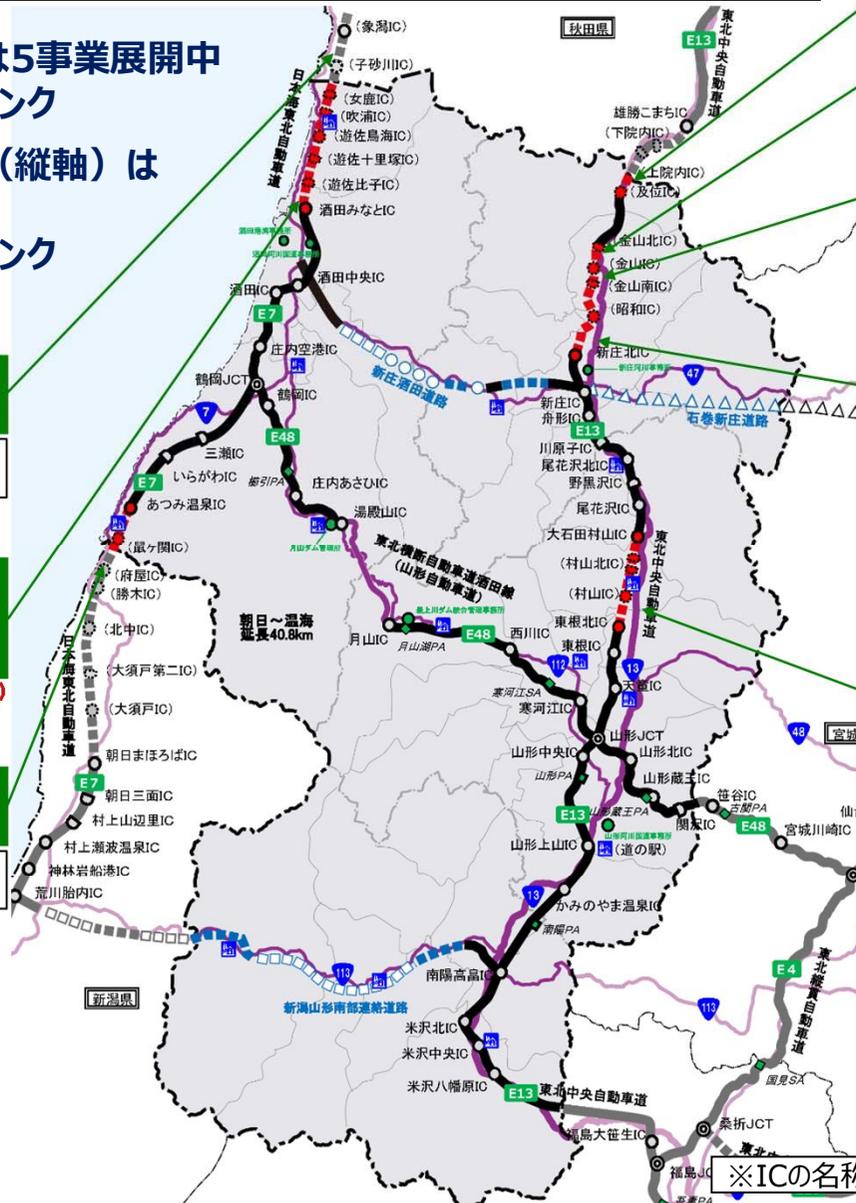
(H25 事業化)

あさひ あつみ
朝日温海道路 L=6.7km

現道R7並行区間：主要渋滞箇所1箇所
・ No.61 鼠ヶ関交差点

※No.は資料1の箇所番号と対応

平成31年4月13日現在



(H29 事業化)

まむろがわおがち
真室川雄勝道路 L=7.2km

(H30 事業化)

かねやま
金山道路 L=3.5km

(H27 事業化)

しんじょうかねやま
新庄金山道路 L=5.8km

現道R13並行区間：主要渋滞箇所2箇所
・ No.48 金山交差点
・ No.103 金山高校前交差点

(H24 事業化)

いすみた
泉田道路 L=8.2km

現道R13並行区間：主要渋滞箇所1箇所
・ No.43 五日町交差点
その他区間(新庄北道路R13並行区間)：
主要渋滞箇所4箇所
・ No.45 山屋交差点
・ No.100 東山北交差点
・ No.101 東山交差点
・ No.102 ショイ新庄店前交差点

(H8 整備計画決定 H10 施行命令)

東北中央自動車道(直轄高速)
(東根~尾花沢) L=23.0km

現道R13並行区間：主要渋滞箇所2箇所
・ No.42 下新田交差点
・ No.98 蟹沢交差点

※H30年4月15日供用(大石田村山IC~尾花沢IC)
H31年3月23日供用(東根IC~東根北IC)

凡例			
高規格幹線道路	供用区間	地域高規格道路	供用区間
事業中区間(直轄事業)	事業中区間	調査区間	調査区間
事業中区間(有料事業)	調査区間	計画路線	計画路線
調査区間	一般国道	候補路線	候補路線

※ICの名称について、() 書きは仮称である。

1-4. 道路ネットワーク等の対策(長期施策)

○新潟山形南部連絡道路等(横軸)は5事業展開中
うち3事業が主要渋滞箇所とリンク

〈地域高規格道路(横軸)〉
○国道47号 (H18事業化)

たかや
高屋道路 L=3.4km

〈一般改築事業〉
○国道112号 (H14事業化)

かじょう
霞城改良 L=1.3km

- 事業区間：主要渋滞箇所5箇所
- ・ No.20 旅籠町交差点
 - ・ No.21 文翔館西交差点
 - ・ No.72 大手町交差点
 - ・ No.22 城北交差点
 - ・ No.23 城北西(城西)交差点

※R元年度全線供用予定

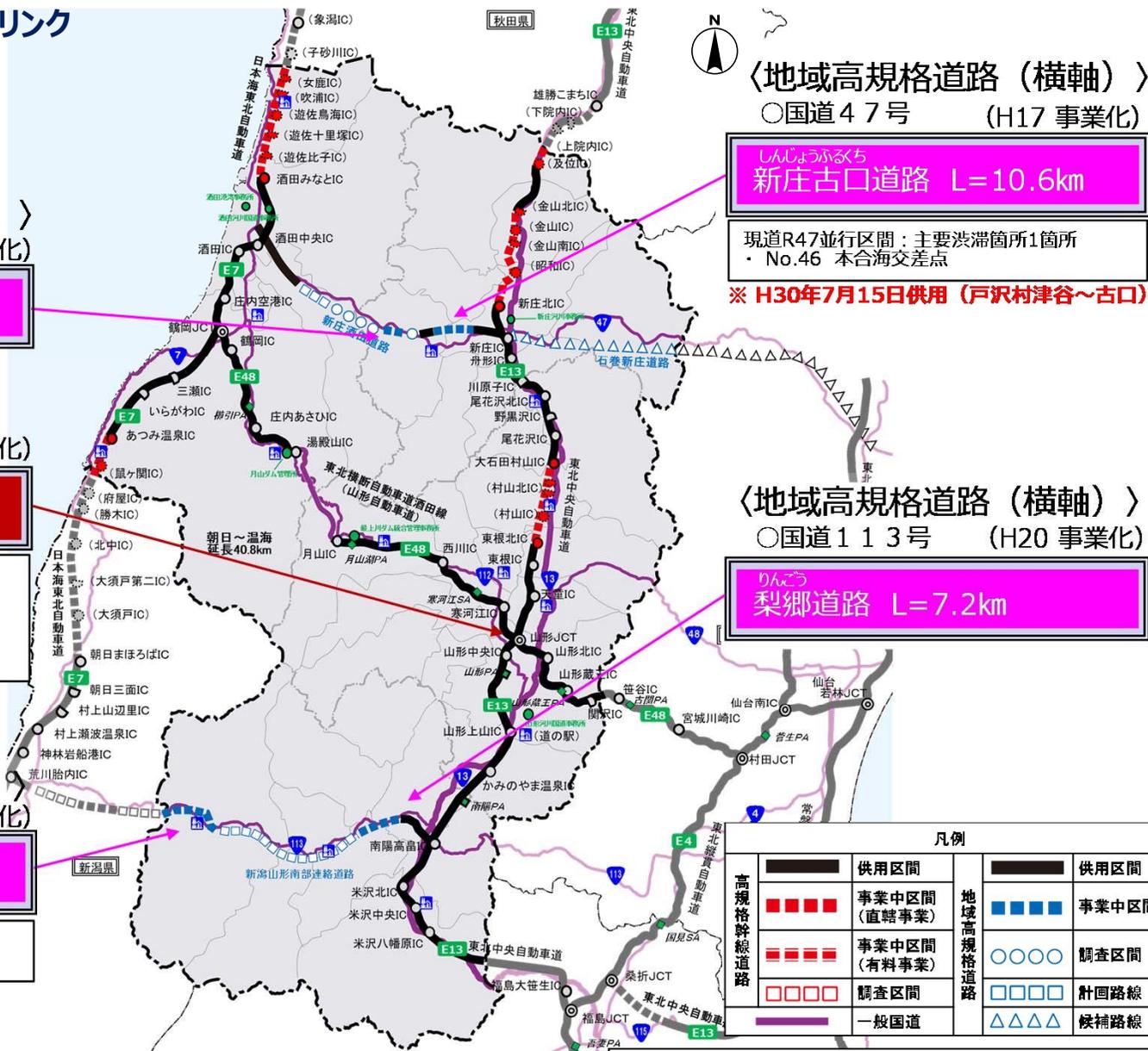
〈地域高規格道路(横軸)〉
○国道113号 (H31事業化)

おくに
小国道路 L=12.7km

- 現道R113並行区間：主要渋滞箇所1箇所
- ・ No.16 緑町交差点

※No.は資料1の箇所番号と対応

平成31年4月13日現在



〈地域高規格道路(横軸)〉
○国道47号 (H17事業化)

しんじょうふるくち
新庄古口道路 L=10.6km

- 現道R47並行区間：主要渋滞箇所1箇所
- ・ No.46 本合海交差点

※ H30年7月15日供用(戸沢村津谷~古口)

〈地域高規格道路(横軸)〉
○国道113号 (H20事業化)

りんごう
梨郷道路 L=7.2km

凡例			
高規格幹線道路	供用区間	地域高規格道路	供用区間
■■■■	事業中区間(直轄事業)	■■■■	事業中区間
■■■■	事業中区間(有料事業)	○○○○	調査区間
□□□□	調査区間	□□□□	計画路線
—	一般国道	△△△△	候補路線

※ICの名称について、() 書きは仮称である。

1-5. 交差点改良等の交通円滑化対策(中・短期施策)

○山形河国では、3事業展開中

○酒田河国では、3事業展開中 ⇒ 交通の円滑化等を図る

○山形県では、1事業展開中

■事業位置図



■主要渋滞箇所に関連する交安事業

事業区分	事業名(市町村名)	事業主体	主要渋滞箇所			道路利用者会議要望箇所			対策	H31進捗状況	事業内容
			No.	交差点名称	観点	No.	交差点名称	要望団体			
【道路】	国道113号 山形113号交通安全対策 おくに にしおきたまぐんおくにまち 小国歩道整備 (西置賜郡小国町)	山形河国	16	みどりちよう 緑町交差点	冬期	—	—	—	交差点改良	継続	調査設計 用地買収等
	国道7号 山形7号交通安全対策 こまや 興屋地区事故対策 (酒田市)	酒田河国	54	ひろの こうや 広野興屋交差点	通常期	135	ひろの こうや 広野興屋交差点	トラック事業者	付加車線整備	継続	調査設計 工事
	国道7号 山形7号交通安全対策 ひろの 広野地区事故対策 (酒田市)		53	ひろの 広野交差点	冬期	136	ひろの 広野交差点	バス事業者 トラック事業者	右折レーン整備	継続	調査設計 工事
	国道112号 山形112号交通安全対策 ちようようまち 朝陽町地区事故対策 (鶴岡市)		60	たいほうじ 大宝寺交差点	通常期	116	たいほうじ 大宝寺交差点	トラック事業者 タクシー・ハイ ヤー協会	付加車線整備	継続	調査設計 工事
県道2号 まるとち 丸の内交差点改良 (米沢市)	山形県	1	ちんとうまち 門東町交差点	通常期	8	ちんとうまち 門東町交差点	観光団体	交差点改良	継続	用地買収 工事	

※No.は資料1の
箇所番号と対応

※No.は参考資料1の
箇所番号と対応

《参考》

■道路利用者会議要望箇所に関連する交安事業

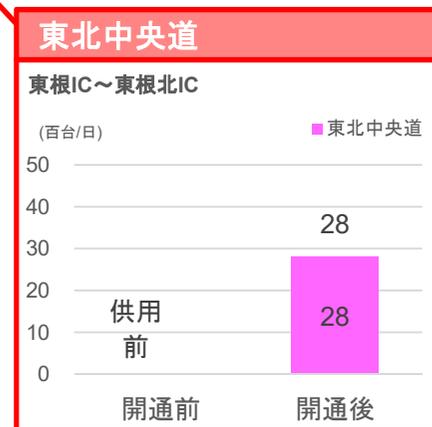
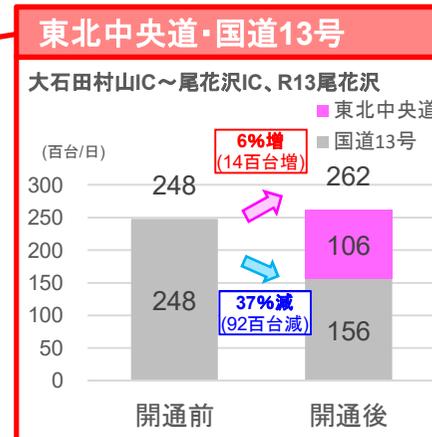
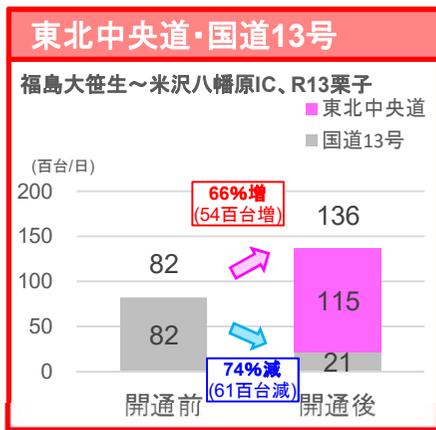
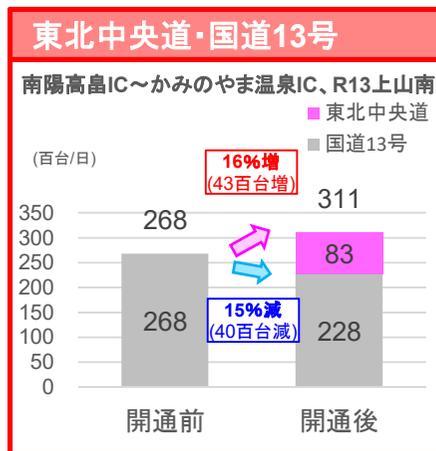
事業区分	事業名(市町村名)	事業主体	主要渋滞箇所			道路利用者会議要望箇所			対策	H31進捗状況	事業内容
			No.	交差点名称	観点	No.	交差点名称	要望団体			
【道路】	国道13号 山形13号交通安全対策 なんよう 南陽登坂車線整備 (南陽市)	山形河国	—	—	—	19	めいこうきんぎょういりぐち (仮)明気産業入口交差点	トラック事業者	登坂車線整備	継続	調査設計 工事
	国道112号 山形112号交通安全対策 もとまいるちようめ 元木一丁目交差点改良 (山形市)		—	—	—	53	げんき いちば まえ (仮)元気市場前交差点	バス事業者	交差点改良	継続	調査設計 用地買収等

※No.は参考資料1の
箇所番号と対応

1-6. 東中道整備等による渋滞緩和効果(交通量変化)

- 東北中央自動車道(縦軸)において、福島大笹生IC~米沢北ICがH29.11に開通。
- 以下図のように、H30.4、H31.3と相次いで開通し、H31.4には南陽高畠IC~山形上山ICが開通。
- ・東北中央自動車道全線の交通量の底上げ、また、現道においては、交通量の転換が図られている。

以下、最近開通区間の主な交通量データ
 (※南陽高畠IC~山形上山ICのH31.4.13開通前後での比較)



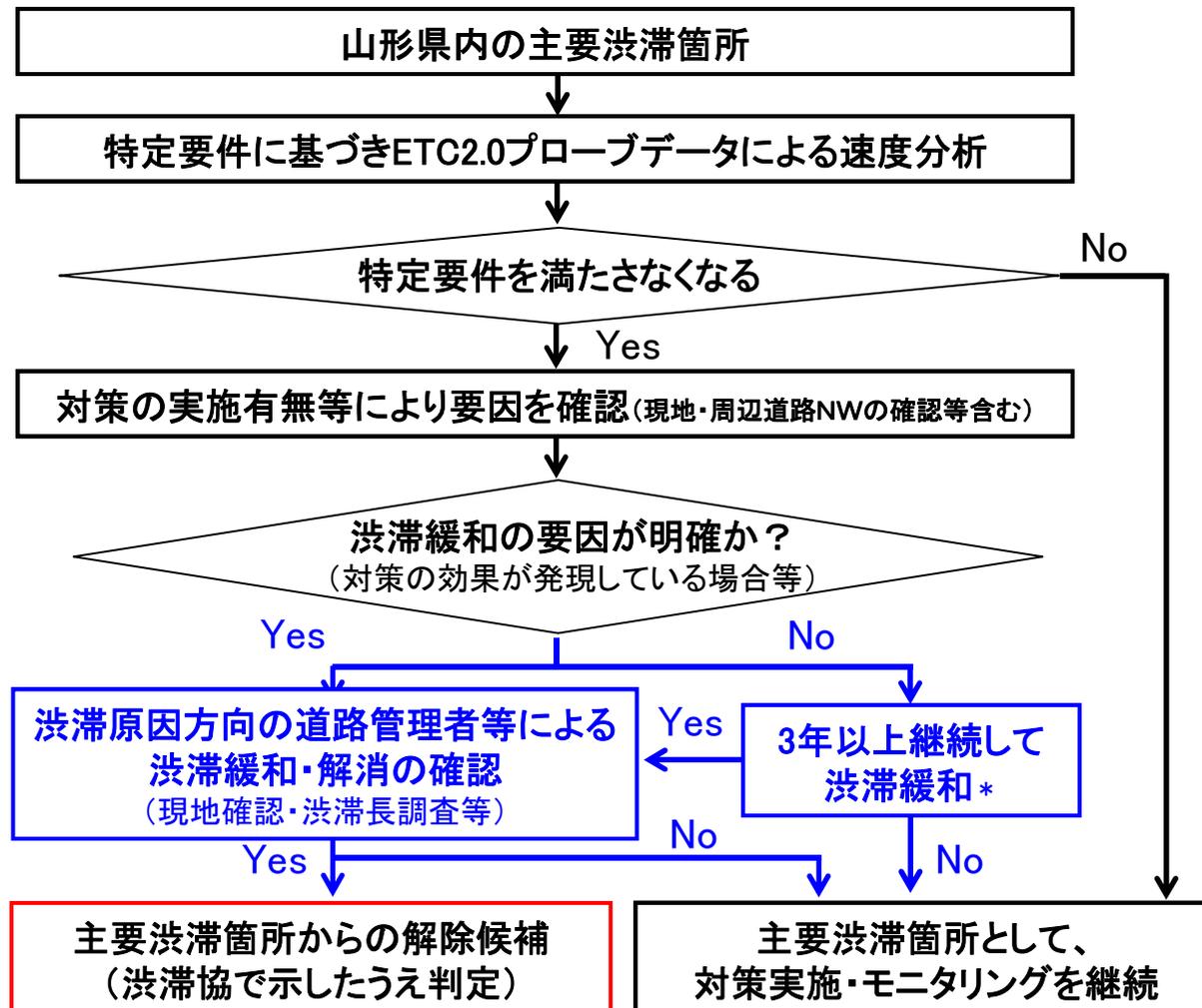
【出典】 開通前：H27道路交通センサ調査
 開通後：NEXCO東日本提供交通量、国土交通省常時観測トラフィックカウンターデータ等
 H31.4.14(日)~R元.6.30(日)の日平均値

2 主要渋滞箇所の解除

2-1. 主要渋滞箇所の解除フロー

- H29渋滞協において、主要渋滞箇所の抽出基準を満たさない箇所が複数見られることを受け、解除フローの見直しを検討(データ上の自然解消等を考慮)
- H30.2~3地域WGにおいて、主要渋滞箇所解除フローの見直しについて協議・了承
- ※今後、主要渋滞箇所の解除は、渋滞の要因となる方向の道路管理者により現地確認を踏まえて判断する

■主要渋滞箇所 解除フロー見直し(案)



解除条件①

- ・ETC2.0プローブデータで抽出条件非該当(対策後、最新データ1年間分で検討)
- ・改善傾向が見られ、現地確認でも渋滞が発生していないこと
- ・自治体等による渋滞緩和・解消の現地確認がなされていること。

解除条件②

- ・観点①通常期、観点③休日については、H25.1.24公表時の元に使われた抽出方向だけでなく、全方向の解消をもって解除
- ・観点②冬期については、H25.1.24公表時の元に使われた抽出方向の解消をもって解除

* ただし、観点②冬期により抽出された箇所は、抽出時の基準となる平成23年度と概ね同程度以上の累積降雪量となる年度のデータにおいて、抽出基準を満たさない場合に解除する。

* 3年に1度起こるような特殊な気象条件等が、偶然連続して起こる確率が5%を下回るために必要な期間(統計学では、「確率的に偶然ではない」とする基準を5%程度として定めることが一般的)

2-2. これまでの経緯

○主要渋滞箇所数

- ・H25.1 115箇所 ⇒ H31.3現在 107箇所
- ・今年度 4箇所解除予定

H24年度	4回の協議会を重ね、H25.1.24主要渋滞箇所(115箇所)を公表
-------	------------------------------------

年度	取り組み	解除箇所	協議会	備考	
				WG	道路利用者との連携強化
H25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・対策案の議論 ・解除箇所の議論 等 	0/115箇所	年1回開催	-	-
H26～ H27年度		3/115箇所		エリア別WG立ち上げ (山形・米沢・鶴岡)	
H28年度		4/115箇所 (累計7/115箇所)		地域別へWG拡大 (置賜・村山・最上・ 庄内の4地域網羅)	
H29年度		0/115箇所 (累計7/115箇所)	バス・トラック協会 観光団体		
H30年度		1/115箇所 (累計8/115箇所)	年2回開催	↓	タクシー・ハイヤー 協会 追加
H31(R元) 年度		4箇所を 解除予定			↓

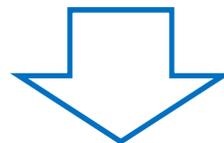
2-3. 主要渋滞箇所の解除箇所リスト

- 今回の主要渋滞箇所解除候補: 対策実施による渋滞緩和 4箇所
- 下記箇所は、ETC2.0プローブデータによる速度分析及び現地調査を行い、渋滞緩和を確認済
- 特に4箇所中3箇所は冬期渋滞のため、累加降雪量も考慮し検証
 ※H30年度は、H23年度と比べ累加降雪量が少ないため、東中道開通後のH29年度においても補足検証

■R元 主要渋滞箇所 解除箇所(案)

No.	交差点名	市町村	渋滞タイプ	完了時期	対策内容	解除要因	《参考》 分析データ
66	国道13号 中田町交差点(国道13号分岐) (道路利用者会議要望箇所 No.3)	米沢市	冬期	H29.11 完了	東北中央自動車道 (福島大笹生IC～米沢北IC)	対策実施 による緩和	通年 H30.4 ～ H31.3 冬期 H30.12 ～ H31.3
67	国道13号 中田町交差点(県道米沢浅川高畠線) (道路利用者会議要望箇所 No.2)	米沢市	冬期				
12	国道13号 花沢交差点 (道路利用者会議要望箇所 No.1)	米沢市	冬期				
68	国道13号 米沢駅東口入口交差点	米沢市	通年				

※No.は資料1の箇所番号と対応



道路ネットワーク整備により、4交差点すべて解除条件を満たしているため、**主要渋滞箇所から解除**することとしたい。

※抽出方向以外も問題無し

2-4. 主要渋滞箇所への解除箇所位置図

対策内容:

東北中央自動車道 [福島大笹生IC～米沢北IC]



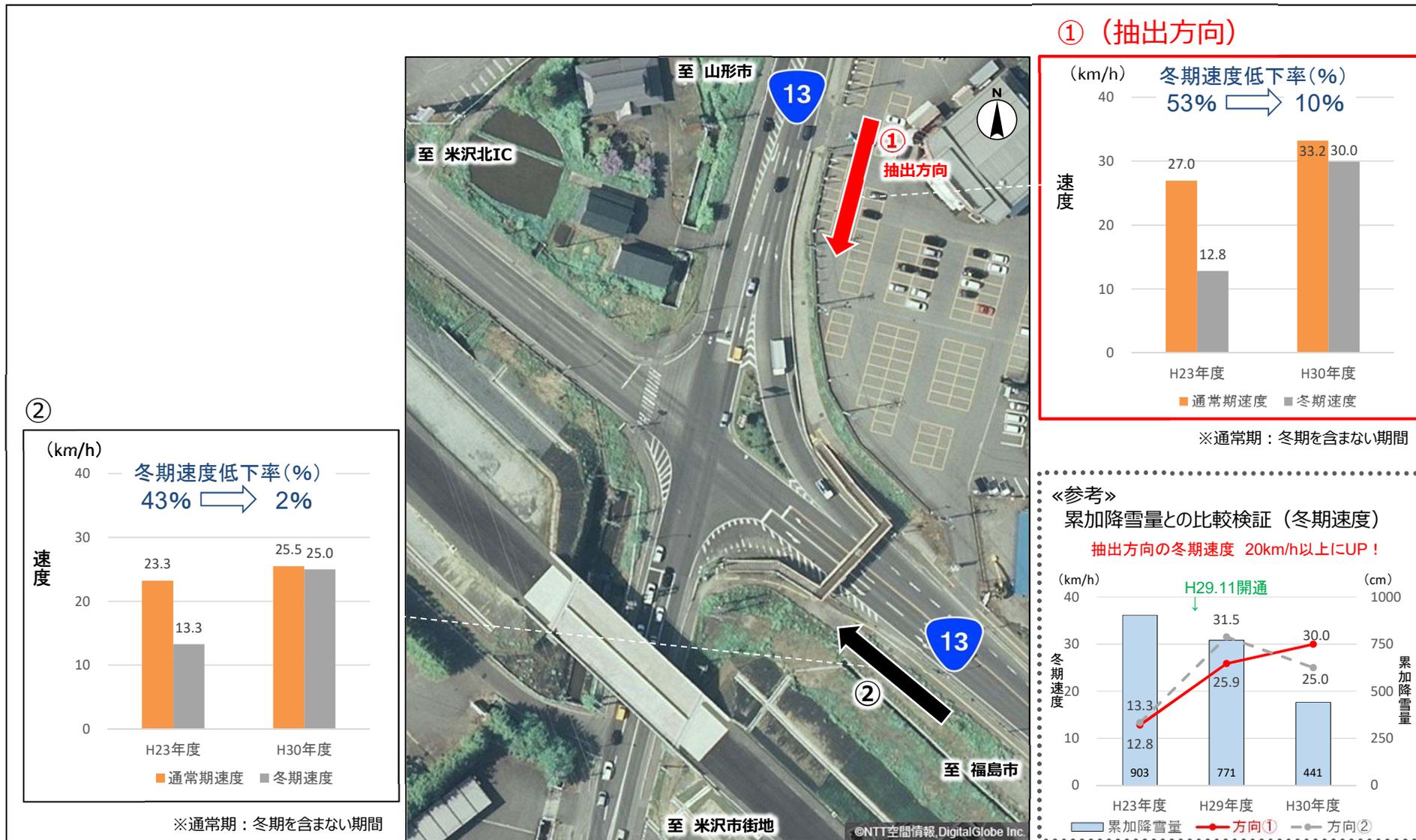
※No.は資料1の箇所番号と対応

①中田町交差点 [国道13号分岐] (米沢市)

渋滞タイプ：冬の渋滞 (観点②)
抽出方向：①方向 (国道13号)

■各方向の冬期速度低下率の変化

解除条件：
対策前後において、冬期の速度低下率が50%未満



※複数日(2日間)現地調査した結果
冬期における国道13号の通過時間も、朝夕ピーク4時間で目立った鈍化無し

【出典】プローブデータ H30年度：ETC2.0プローブデータより算出 (H30.4～H31.3)
H29年度：ETC2.0プローブデータより算出 (H29.12～H30.3)
H23年度：H24年度当時算出 (H23.5～H24.4)

累加降雪量

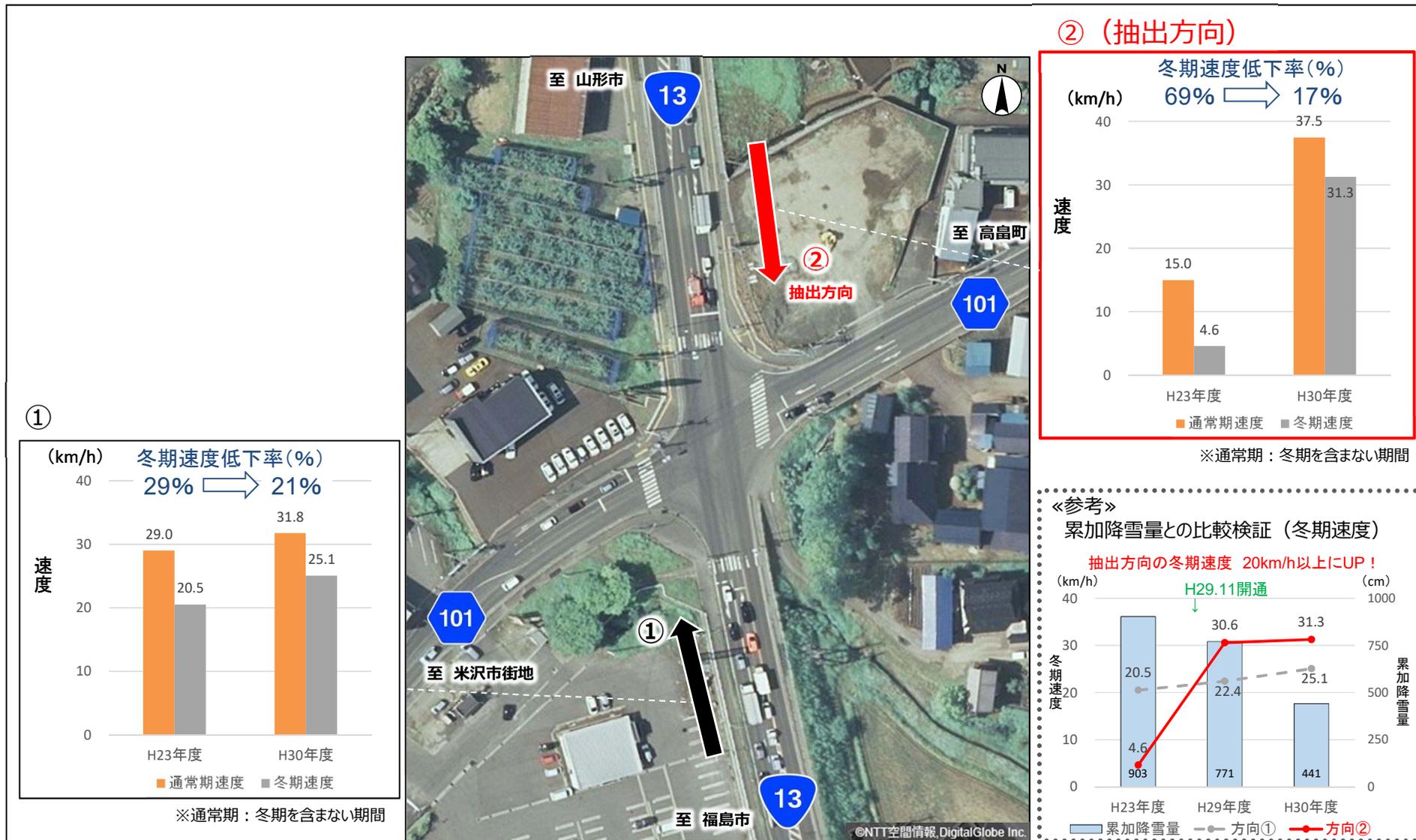
：山形河川国道事務所

②中田町交差点 [県道米沢浅川高畠線] (米沢市)

渋滞タイプ：冬の渋滞（観点②）
抽出方向：②方向（国道13号）

■各方向の冬期速度低下率の変化

解除条件：
対策前後において、冬期の速度低下率が50%未満



※複数日(2日間)現地調査した結果
冬期における国道13号の通過時間も、朝タピーク4時間で目立った鈍化無し

【出典】プローブデータ H30年度：ETC2.0プローブデータより算出 (H30.4～H31.3)
H29年度：ETC2.0プローブデータより算出 (H29.12～H30.3)
H23年度：H24年度当時算出 (H23.5～H24.4)

累加降雪量

：山形河川国道事務所

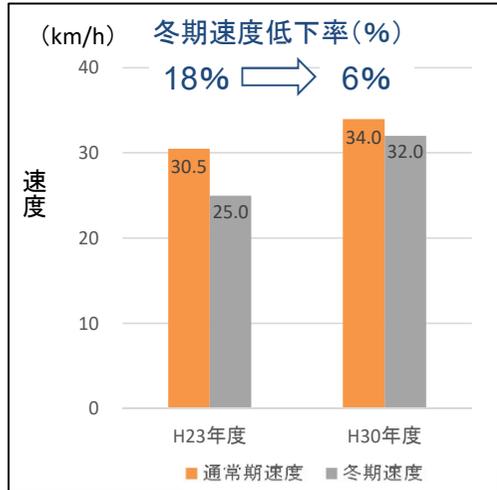
③花沢交差点 [国道13号] (米沢市)

渋滞タイプ：冬の渋滞（観点②）
抽出方向：①方向（国道13号）

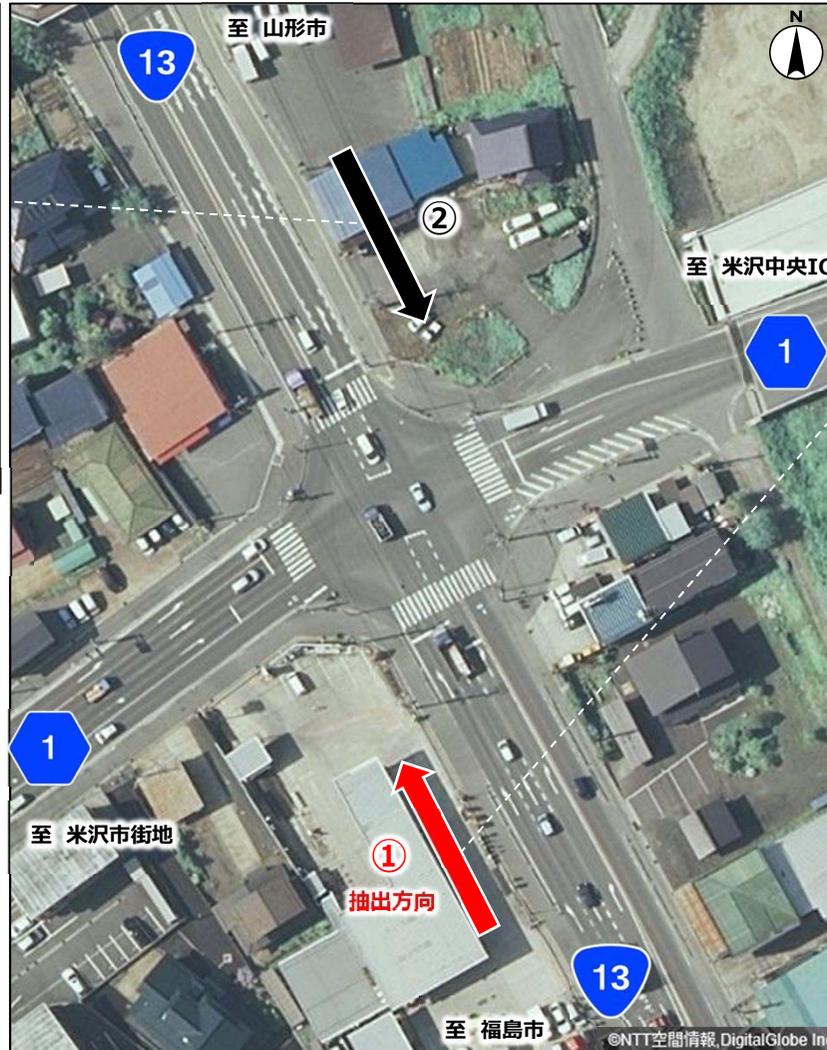
■各方向の冬期速度低下率の変化

解除条件：
対策前後において、冬期の速度低下率が50%未満

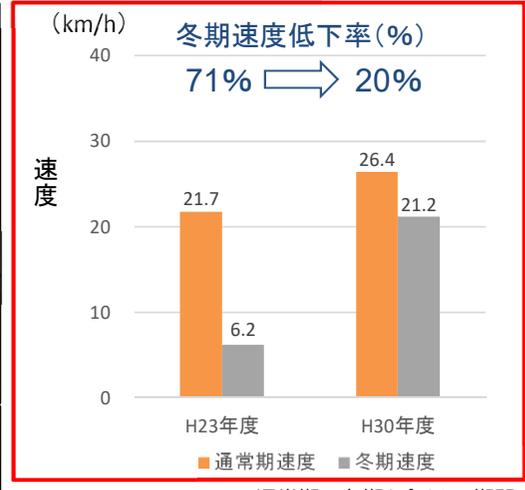
②



※通常期：冬期を含まない期間



① (抽出方向)

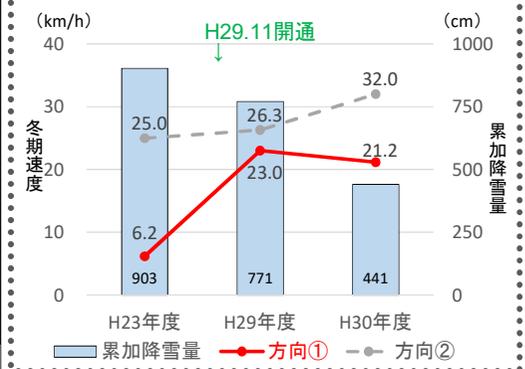


※通常期：冬期を含まない期間

《参考》

累加降雪量との比較検証（冬期速度）

抽出方向の冬期速度 20km/h以上にUP！



※複数日(2日間)現地調査した結果

冬期における国道13号の通過時間も、朝タピーク4時間で目立った鈍化無し

【出典】プローブデータ H30年度：ETC2.0プローブデータより算出（H30.4～H31.3）
H29年度：ETC2.0プローブデータより算出（H29.12～H30.3）
H23年度：H24年度当時算出（H23.5～H24.4）

累加降雪量

：山形河川国道事務所

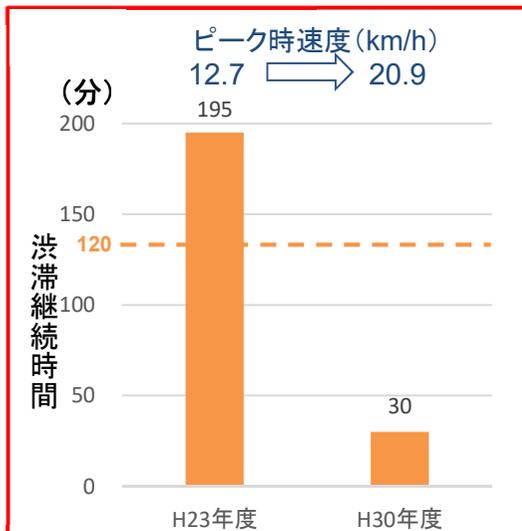
④米沢駅東口入口交差点 [国道13号] (米沢市)

渋滞タイプ：通常期の渋滞（観点①）
抽出方向：③方向（県道1号）

解除条件：
対策前後において、ピーク時速度:20km/h以上
・渋滞継続時間:120分未満

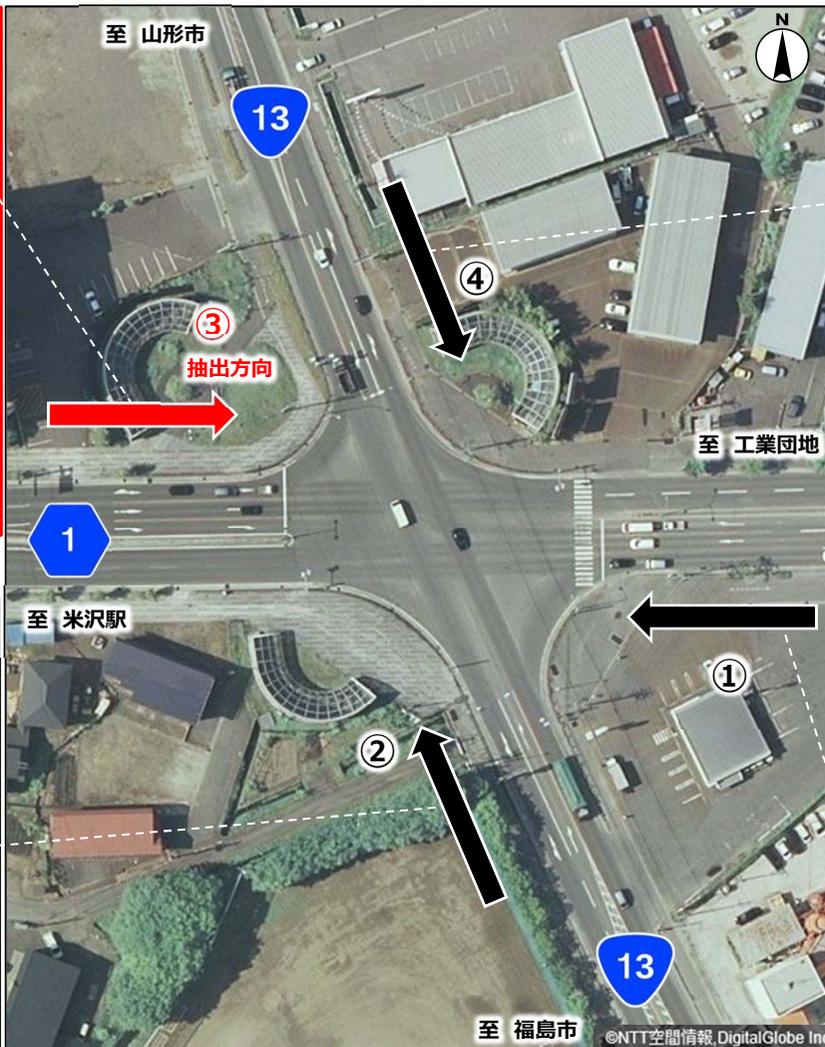
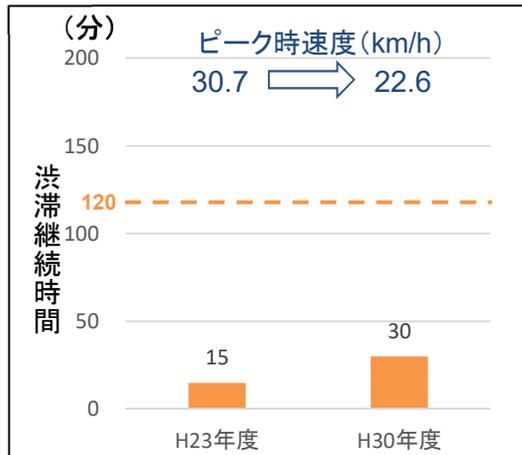
■各方向の渋滞継続時間の変化

③（抽出方向）

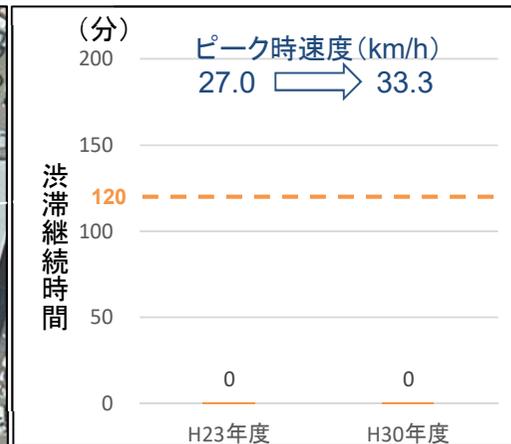


※県警信号現示調整の協力有

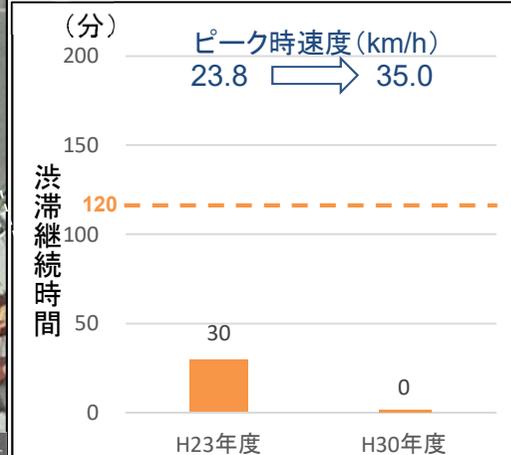
②



④



①



※複数日(2日間)現地調査した結果
朝夕ピーク時4時間で、目立った渋滞無し

【出典】 H30年度：ETC2.0プローブデータより算出 (H30.4~H31.3)
H23年度：H24年度当時算出 (H23.5~H24.4)

3. 今年度の渋滞対策の実施内容

3-1. 道路利用者会議要望箇所 対策実施内容

○今年度の道路利用者会議要望箇所の対策実施箇所は下表のとおり。

No.	箇所	市町村	主な渋滞要因	対策(案)	《参考》 要望団体
32	①国道13号 青田五丁目交差点 (主要渋滞箇所)	山形市	右折車線が短く、右折待ち車両により直進車両を阻害	<新規:ピンポイント渋滞対策> ・右折レーン延伸	トラック事業者 タクシー・ ハイヤー協会
73	②県道18号 山形テレビ前交差点 (主要渋滞箇所)	山形市	右折車線がなく、右折待ち車両により直進車両を阻害	<新規:ピンポイント渋滞対策> ・右折車両の待機位置明示	トラック事業者
117	③加茂水族館	鶴岡市	駐車場への入庫待ち渋滞	<継続対策> ・駐車場待ち行列の方向変更 ・周辺駐車場からのアクセス向上	観光団体
-	④赤川花火大会時の 国道112号月山道路	鶴岡市	宮城県や山形県内陸からの見物客の集中による交通渋滞	<継続対策> ・渋滞状況の広報による出発時刻の分散	観光団体

※No.は参考資料1の箇所番号と対応

以下、参考

- ①道路ネットワーク対策(長期施策)・交差点改良等対策(中・短期施策)は、P.6～8掲載
- ②今年度解除箇所の道路ネットワーク対策(長期施策)はP.13掲載
- ③これまでのピンポイント対策等はP.33掲載

①国道13号 青田五丁目交差点

○右折レーンの延伸(約60m→約90m)

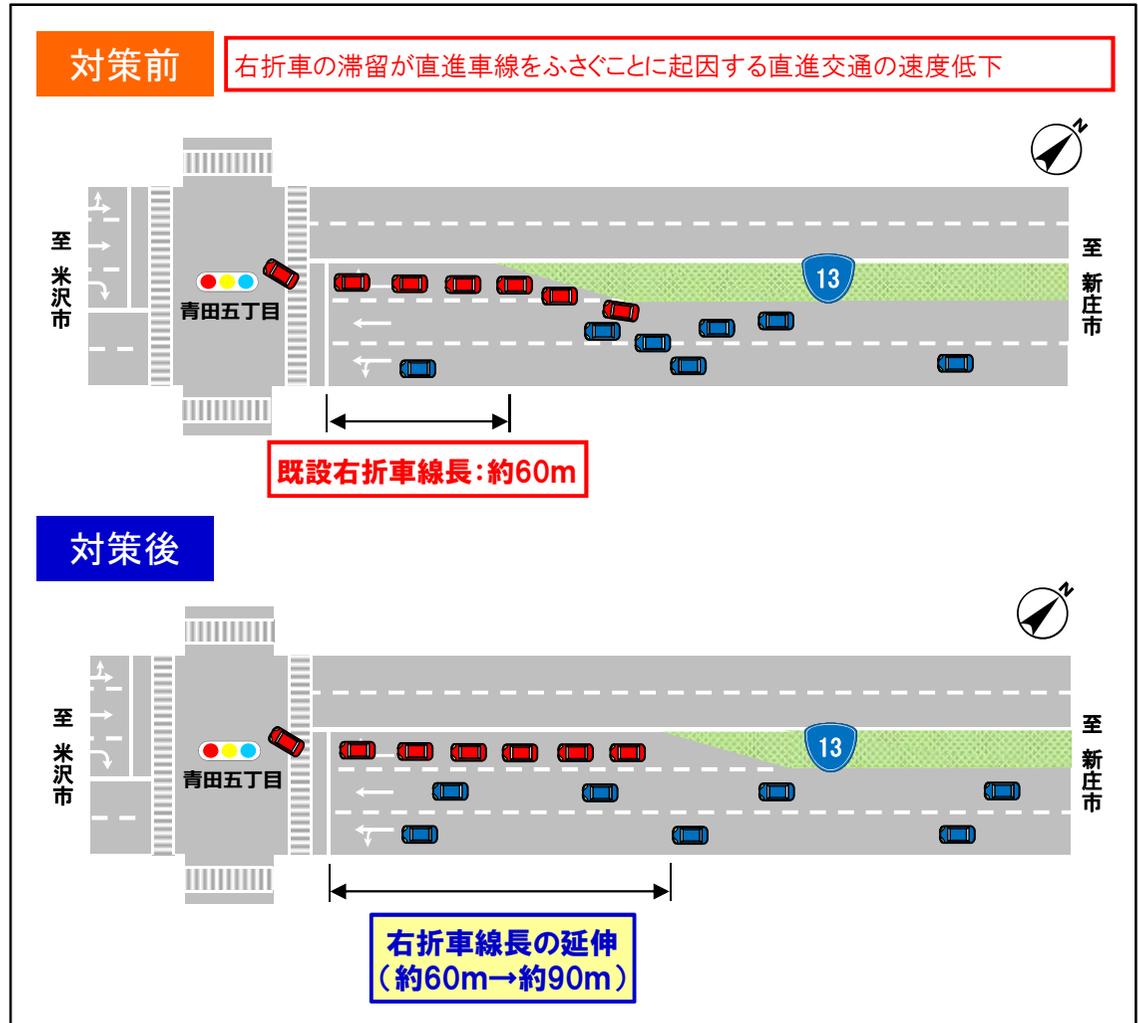
《位置図》



《広域図》



《説明図》



※警察と連携・調整し、実施

③加茂水族館における渋滞対策の取り組み

- 加茂水族館における繁忙期渋滞対策として、H29年よりアクセス時交通運用の変更を実施中。
- H30年度ゴールデンウィーク期で渋滞状況モニタリングを実施した結果、大きな渋滞緩和効果を確認。
- 引き続き渋滞緩和効果が継続しているかのモニタリングを今年度も実施予定。(お盆期間を予定)

■加茂水族館における繁忙期の渋滞対策(概要)

- ・繁忙期限定でH29.8月より新たな渋滞対策を導入(渋滞緩和による緊急車両の通行確保が目的)

- 対策1. 第1駐車場への右折入場禁止
- 対策2. 今泉駐車帯における車両転回
- 対策3. 第2駐車場経由でのシャトルバス運行

▼加茂水族館の渋滞緩和対策 (H29. 8月～)



■加茂水族館における繁忙期渋滞対策効果

- ◆効果1 ⇒ 国道112号の渋滞が解消 (大山方向・湯野浜方向)
- ◆効果2 ⇒ スムーズな緊急車両走行が可能となり『安心』が向上

▼H29年・GW期の渋滞状況【対策前】



▼H30年・GW期の渋滞状況【対策後】



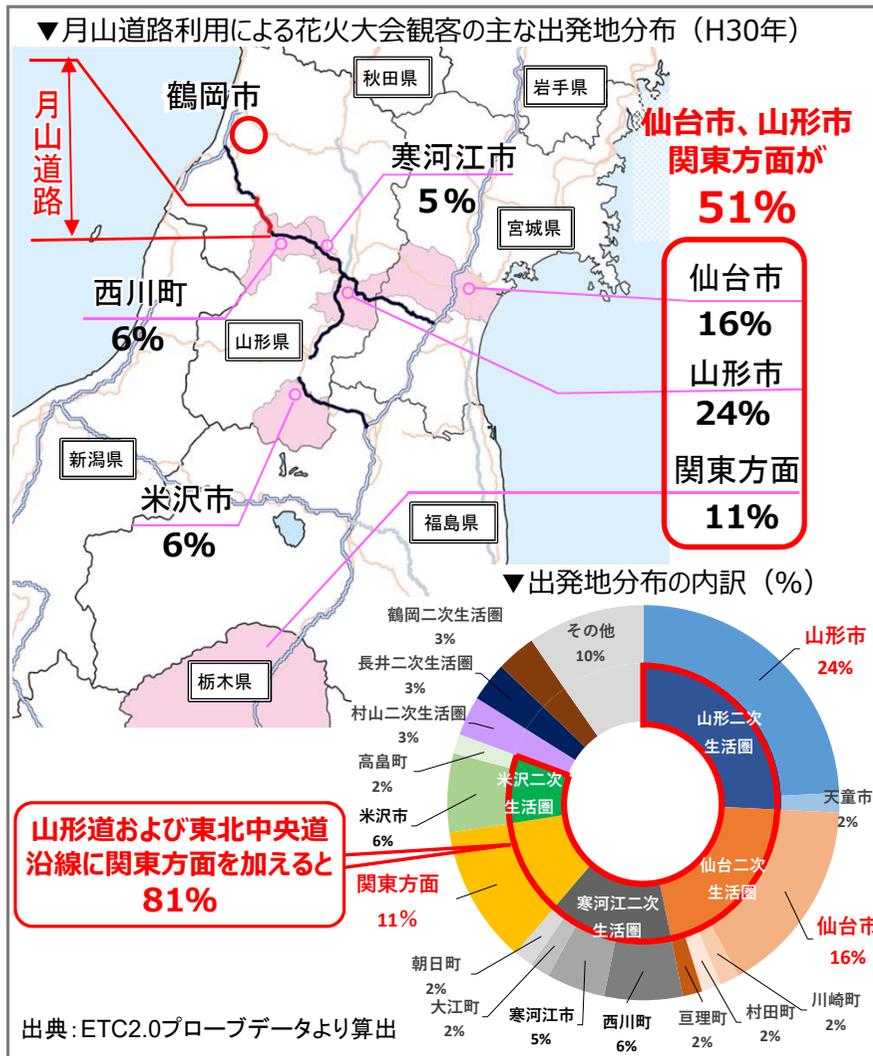
●参考(R元年度・GW期の状況)
水族館施設管理者の声

一時的に由良方向から水族館隣の県立加茂水産高校付近まで繋がることもありましたが、以前のような渋滞は無くなりました。

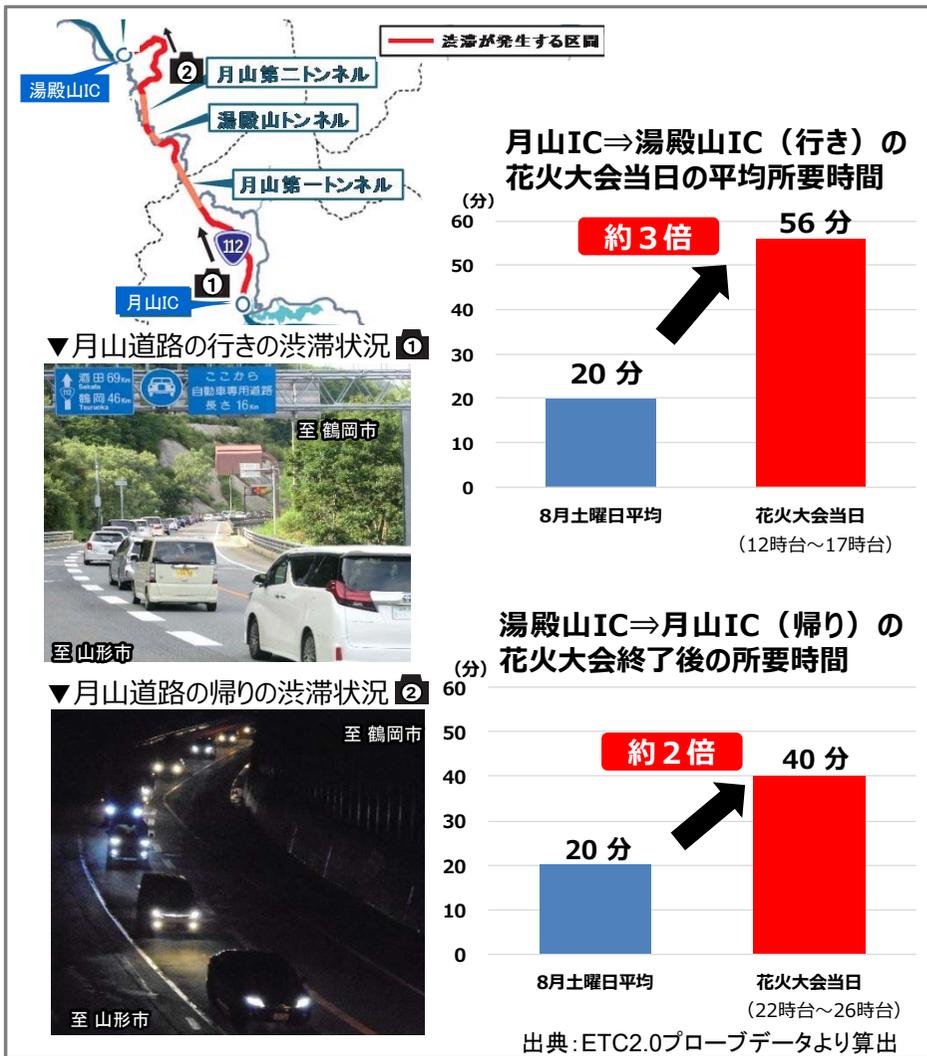
④赤川花火大会時の渋滞対策の取り組み

- 鶴岡市では、毎年第3土曜日に「赤川花火大会」が開催され、多くの観客が多方面から訪れる。
- 月山道路では、内陸方向からの交通が集中し、約5割が山形市・仙台市・関東方面で占められる。
- 交通集中に伴い、通常20分の所要時間が、行きで平均56分、帰りで平均40分と混雑が発生。

■月山道路を利用する花火大会観客の分布



■平成30年度 赤川花火大会当日の交通状況(H30.8.18)



④赤川花火大会時の渋滞対策の取り組み

- 平成30年度は、交通分散を図るための事前広報(チラシ配布、HP等)を実施。交通の時間分散や対策の認知が図られており、一定の対策効果を確認。
- 今年度は、看板設置による広報を実施し、更なる周知を図る。

■平成30年度の渋滞対策効果(交通の時間分散効果)

平成30年度では、月山道路・利用交通量の時間分散効果を確認

▼大会当日の月山道路交通量

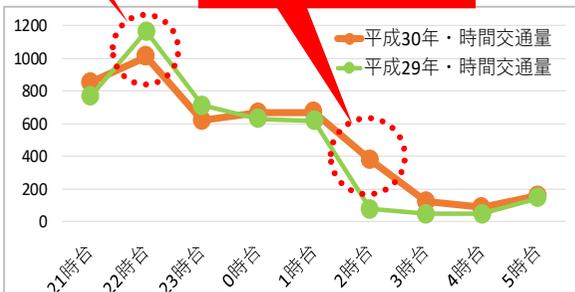
下り(山形⇒鶴岡方向)

平成30年は交通のピークが10時台
⇒平成29年より1時間早く、
渋滞時間帯を避ける交通が増加



上り(鶴岡⇒山形方向)

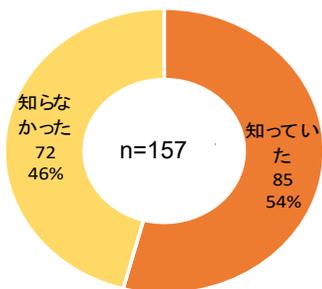
平成30年は22時台の交通集中が緩和
渋滞が緩和しはじめる
26時台で交通が増加



出典: 交通量常時観測データ

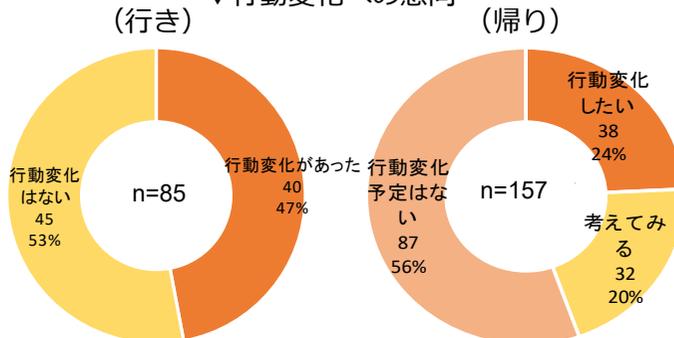
渋滞緩和策(広報チラシ)は約半数が認知し、行動を変化

▼渋滞緩和策(広報チラシ)の認知度



出典: 来場者アンケート調査(H30)

▼行動変化への意向



■今年度の渋滞対策の新たな取り組み

看板による花火大会当日の交通混雑の広報

- 国道112号現道区間を経由して月山道路を利用する交通を対象に、花火大会当日の月山道路の交通混雑を事前広報。
[大会前1週間程度の期間で実施]

- 看板の設置は月山道路の利用者が多く通行する区間を検討中。

▼道路看板のイメージ

8月17日(土)
赤川花火大会
112号月山道路
混雑注意

鶴岡方向
12時台~17時台
※当日の交通状況により混雑時間帯は前後することがあります。

国土交通省・山形河川国道事務所
酒田河川国道事務所
山形県渋滞対策推進協議会

3-2. その他の対策実施内容

○その他、以下の対策についても実施予定。(一部実施)

対策内容	対象
①スタック注意喚起チラシ	山形河川国道事務所管内
②観光渋滞対策の取り組み	国道48号さくらんぼ渋滞

①スタック注意喚起チラシ

○内陸3地域WGの取り組みとして、以下 ②作成。今冬、関東方面等に配布予定。

■関東方面への配布先

- ・トラック協会（全日本トラック協会、東京都トラック協会、神奈川県トラック協会、埼玉県トラック協会、千葉県トラック協会 他、計30団体）
- ・道の駅（八王子滝山、箱根峠、庄和、道の駅保田小学校、川場田園プラザ、うつのみやろまんちっく村、常陸大宮 他、計690カ所）
- ・その他（国交省、県、NEXCO、県警 等）

1

※H30年度版

2

※左のチラシと一体とすることも視野

3

※H30年度版

②観光渋滞対策の取り組み

○隣県(宮城県)及び東根市、天童市と取り組んでいる「国道48号さくらんぼ渋滞対策」。

①「TDM施策、インセンティブ施策」の継続実施

②「リアルタイム混雑情報提供」の取り組み(後述)

○上記①・②は、結果・効果等を確認し、山形県の渋滞箇所への水平展開も視野。

※なお①は、赤川花火大会の渋滞対策に展開済

■隣県(宮城県)と取り組んでいる事例 ～国道48号 さくらんぼ渋滞対策～

【TDM施策】

時間の変更

国道48号の混雑時間帯を避けよう!

行き 仙台 → 東根・天童
帰り 東根・天童 → 仙台

混雑している道路を避け、別のルートを試してみよう!

秋保温泉ルート
高速道路ルート

国道48号での所要時間は、行き・帰り、それぞれ約90分～110分です

これは便利! 国道48号(仙台宮城IC～東根市)の所要時間が分かります

さくらんぼ狩り所要時間情報サイト開設!

東根市 さくらんぼ狩り
天童

国道48号混雑回避で東根・天童さくらんぼ狩りがお得になります!

東根市 6/15(土)～7/7(日)の土日限定

モーニングサービス 9:00～10:00
さくらんぼ東根駅1Fの観光案内所で「さくらんぼ狩り入園券」に購入の場合に割引!

大人 1,600円 → 1,000円
子供 1,100円 → 500円

アフターサービス 14:00～15:00
さくらんぼ東根駅1Fの観光案内所で「さくらんぼ狩り入園券」ご購入の場合、入園券1枚につき、さくらんぼ東根温泉入浴券1枚プレゼント!

天童市 6/15(土)～7/10(日)

モーニングサービス 開園～10:00
アフターサービス 14:00～閉園

天童市観光果樹園連絡協議会に加盟する観光果樹園へ本チラシを持参すると、入園料を300円割引

入園割引等のインセンティブ施策

さくらんぼ狩りの後に、ぜひお立ち寄り下さい!

りんごの王国 大型遊具で元気に遊べる屋内施設で!

ゆひあ 県内最大級の露天風呂が魅力!

天童市にお越しの皆様へ

②観光渋滞対策の取り組み

- 目的: さくらんぼ狩り期におけるR48仙台市～東根・天童市間で、目的地までの所要時間をリアルタイムで情報提供し、山形道への迂回を促進するもの。
- 実施時期: 令和元年6月15日(土)～同年7月7日(日)の土曜日・日曜日7:00～19:00
- 実施内容: リアルタイムで所要時間を算出し、現地LED看板・WEBサイトで情報提供

■位置図



■Web上での情報提供



■国道13号での設置表示状況

LED情報板



予告看板



4. 今年度の渋滞対策の検討内容

4. 今年度の渋滞対策の検討予定

○今後の渋滞対策の検討項目は下表のとおり。

項目	対象
①高規格道路等の供用箇所におけるモニタリング調査等	山形県内
②道路利用者会議要望箇所の対策検討	山形県内
③大型店舗等立地箇所における対策検討	山形県内
④山形市内の公共交通(バス)利用の検討	山形市
⑤ピンポイント対策事例集作成	山形県内(※東北の優良事例含む)

etc

①高規格道路等の供用箇所におけるモニタリング調査等

○以下の箇所において、モニタリング調査等を行う。

対策内容:

余目酒田道路

H30.3 完了

No.52 国道7号 大宮交差点(酒田市)



No.57 国道47号 余目土堤下交差点(庄内町)

対策内容:

東北中央自動車道 [大石田村山～尾花沢]

H30.4 完了

No.42 国道13号 下新田交差点(尾花沢市)

対策内容:

東北中央自動車道 [東根～東根北]

H31.3 完了

No.98 国道13号 蟹沢交差点(東根市)



※No.は資料1の箇所番号と対応

②道路利用者会議要望箇所の対策検討

- 道路利用者団体要望箇所は、交差点数として140箇所。（※重複箇所は統一して集計）
 ○主要渋滞箇所を主軸としたピンポイント対策等の対策を検討予定。

■道路利用者会議要望 箇所数(重複箇所有)

道路利用者会議要望 内訳	①バス協会	②トラック協会	③観光団体	④タクシー・ハイヤー協会
要望箇所(区間)	9箇所	62箇所	42箇所	10箇所
上記に含まれる交差点	26箇所	73箇所	66箇所	10箇所
うち、主要渋滞箇所	13箇所	32箇所	25箇所	10箇所

※位置図は参考資料1を参照

■道路利用者会議要望箇所 実施済対策一覧表

箇所	市町村	主な渋滞要因	対策	《参考》 要望団体
①国道112号 旅籠町交差点 (主要渋滞箇所)	山形市	右折車線がなく、右折待ち車両により直進車両を阻害	<ピンポイント渋滞対策> ・右折ポケット設置 (H31.1.16 施工完了)	バス・観光
②国道112号 下条五叉路交差点 (主要渋滞箇所)	山形市	右折車線がなく、右折待ち車両により直進車両を阻害	<ピンポイント渋滞対策> ・右折車両の待機位置明示 (H30.9.6 施工完了)	バス・タクシー
③国道13号 鳥上坂	南陽市	圧雪等による速度低下	<上り線(下り勾配方向)> ・凍結防止剤自動散布装置(～H29 設置完了) ・注意喚起【冬期看板設置】(～H29 設置完了) ・凍結抑制対策 グルーピング舗装 (～H30.11 施工完了)	トラック

③大型店舗等立地箇所における対策検討

○「観点③ 休日の渋滞」を主軸に、対策検討を行う予定。

※山形広域都市圏パーソントリップ調査の結果も参考に検討

■主要渋滞箇所(渋滞タイプ:観点③休日の渋滞)と周辺施設等

No	交差点名	市町村	近隣の大型商業施設等
82	イオン山形北店西交差点	山形市	イオン山形北店 等
33	嶋交差点	山形市	ヨークタウン嶋 等
9	米沢総合公園南交差点	米沢市	イオン米沢店 等
104	ロックタウン酒田店前交差点	酒田市	イオンタウン酒田 等
113	伊勢原町交差点	鶴岡市	マックスバリュ 鶴岡南店 等
56	イオン三川前交差点	三川町	イオンモール三川 等

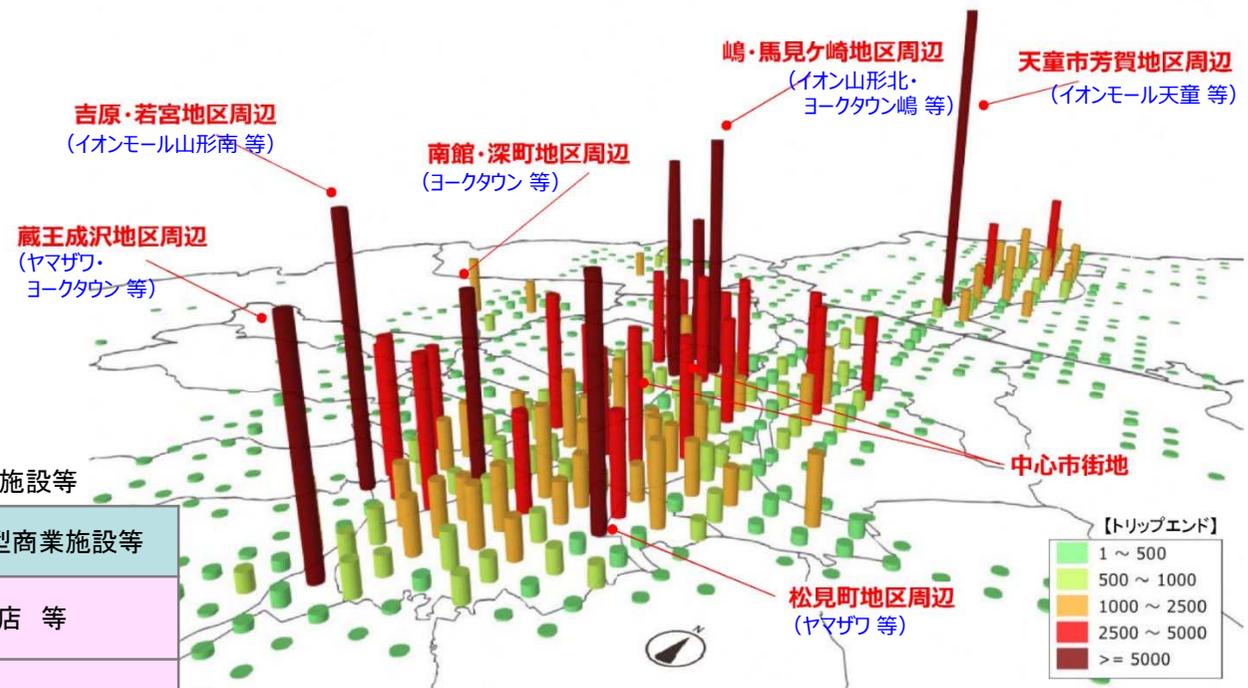


図 休日の買い物目的の着地分布 (500mメッシュ・都市圏計)

出典: H29山形広域都市圏パーソントリップ調査 調査結果 131ページ
 ※青字は想定により加筆

※No.は資料1の箇所番号と対応

④山形市内の公共交通(バス)利用の検討

○山形市において行ったパーソントリップ調査の結果が、H31.3公表。

- ・山形市内の朝夕を中心とした渋滞を削減できるよう、自動車からバスへの交通転換が図れるような策を山形市と調整・連携し検討

■調査結果

- ・バスの運行本数が1時間に1本以上で、かつ、バス停300m圏の人は、約5割
- ・しかしながら、自動車利用者が多く、バス利用者が非常に少ない(1%)

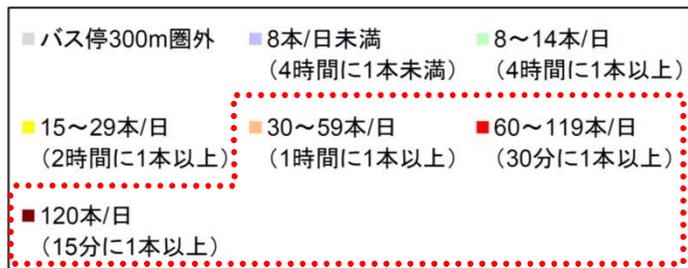
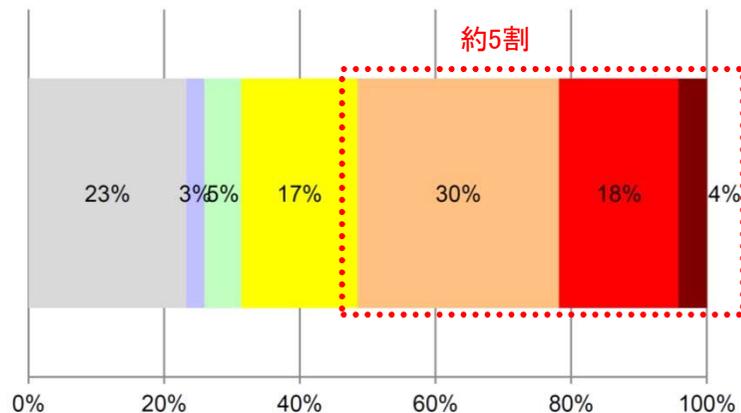
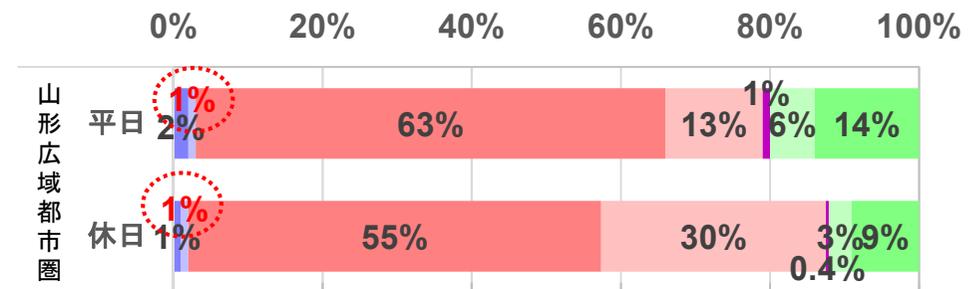


図 運行本数ランク別・バス停300m圏居住人口 (山形市のみ)



※「自動車運転(不明)」、「その他」、手段「不明」は集計対象外

図 代表交通手段構成比 (山形広域都市圏)

出典: H29山形広域都市圏パーソントリップ調査 調査結果 52ページ

5. 補足資料

5-1. 地域WG体制

- これまで面的に渋滞箇所が多い「山形・米沢・鶴岡」においてエリアWGを設置
- H29.2からは全県をカバーするように、「村山・最上・置賜・庄内」地域WGへ拡大

地域WG体制

※自治体構成: 順不同

【庄内地域WG】

【自治体構成】

・鶴岡市・酒田市・三川町・庄内町・遊佐町

●鶴岡都市圏

・中心部におけるソフト対策 など議論

※開催年月日: H29.3.7、H30.3.9、H31.2.8

【置賜地域WG】

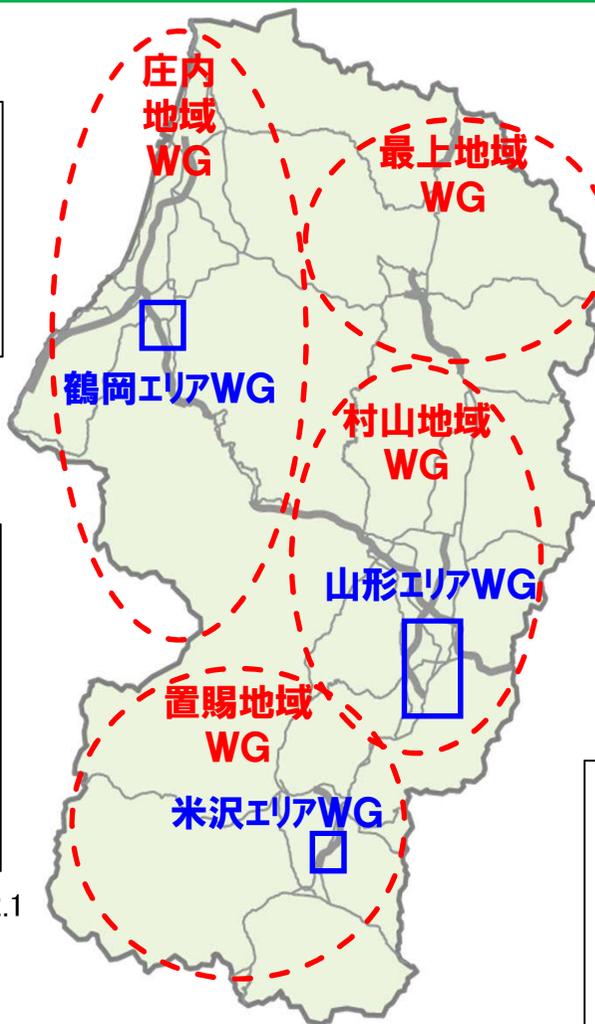
【自治体構成】

・米沢市・長井市・小国町・飯豊町
・南陽市・高畠町

●米沢都市圏

・東北中央道(福島大笹生IC~北米沢IC)開通後に渋滞状況把握
・中心部におけるソフト対策 など議論

※開催年月日: H29.2.27、H30.2.14、H31.2.1



【最上地域WG】

【自治体構成】

・新庄市・金山町・最上町

※開催年月日: H29.2.24、H30.2.15、H31.1.31

【村山地域WG】

【自治体構成】

・山形市・天童市・東根市・尾花沢市・村山市
・寒河江市・中山町・河北町・上山市

●山形都市圏

・山形中山道路、霞城改良、下条歩道など渋滞状況を共有しながら整備を推進
・各機関連携のもと、都計道を中心としたネットワーク化を推進

※開催年月日: H29.2.22、H30.2.20、H31.1.28

組織図

渋滞協

庄内地域WG

置賜地域WG

村山地域WG

最上地域WG

5-2. 地域特有の課題「4つの柱」

○H29渋滞協において、主要渋滞箇所として抽出される観点①②③以外に山形県の地域特有の課題『3つの柱』を設定し、課題解決のための検討を進めていくことを提案・了承

○山形県においては、高速道路等の開通が相次いでいる。

- ・H30には新たに「高速道路の整備に伴う周辺の道路交通の課題」の検討も追加し、「4つの柱」として取り組む

